

# 高島町亀岡地区文化祭「理科工作・実験教室」 実施報告

山吉康弘

日 時：平成29年10月29日（日）10：30～12：00

場 所：高島町亀岡地区公民館 屋外テント

テーマ：「スペシャルスライムをつくろう」「炭酸ガスロケットをとばそう」

参加者：(スライム) 児童32名, (ロケット) 児童12名, 他保護者等

指導者：佐藤和昭 (統括技術長), 大橋栄市 (地域連携担当), 村上聡 (計測技術室),

藤原渉 (機器分析技術室), 佐藤伸一 (計測技術室), 山吉康弘 (副統括技術長)

今年で5年連続の依頼を受けて、高島町亀岡地区公民館で行われた地区文化祭のイベントで理科工作・実験を行った。この時期毎年恒例になった感はあるが、今回は近づく台風22号の影響で土砂降りの雨と低い気温の最悪のコンディションの中での実施となった。地域で行われるイベントには毎年ほぼ同じ児童が参加するので実施するテーマを決める際に頭を悩ませるが、今回は昨年と同じ「スペシャルスライムをつくろう」と新たな「炭酸ガスロケットをとばそう」のテーマを平行して行った。スライムは相変わらずの人気で主催者側の想定人数を超える参加者があり集客には最適のテーマであると再認識した。炭酸ガスロケットは高島町二井宿地区公民館で実施した経験と、屋外での実施に向いていると判断して準備したが、ロケットの工作は屋外テントの下で行えたものの、発射はテントの外にせざるを得ず、せっかくきれいに塗り絵して取り付けた尾翼や先端がよれよれになってしまい残念であった。それでも何度も飛ばしたいと申し出る子供がいて雨が恨めしく思えた。同地区からは来年以降も依頼がくると思われるが、天気にも恵まれない時期なので、天候の影響を受けにくいテーマや雨天時の対策を立てて臨む必要がある。また依頼者側に屋内での実施を申し入れることも一考かもしれない。

